

活動状況報告（2月）

学生留学コース 5期生 上野 瞭子

2月は、あっという間に過ぎた1ヶ月でした。

日本の文化を伝えるため、今月は留学生の友人と節分の行事を行いました。その内容は、恵方巻を1から作り、大豆を年の数だけ食べるなどです。参加した友人は、日本の文化に興味を持っており、私は、その友人から、なぜ節分という行事があるのか、なぜ恵方巻の食べ方が独特なのか、なぜ大豆を年の数だけ食べるのかなど様々な質問を受けました。日本では当たり前のように日本の行事を行なっていましたが、今では、これらの質問に対して説明するため、正しい情報を調べ、英語で説明できる能力を身につけました。この節分行事を通して、日本の文化をただ提供するだけでなく、自身もその文化に対する理解を深めることができましたと思います。

また、今月は、TMI 総合法律事務所に所属しフランスで活躍されている弁護士が、対談を受け入れてくださいました。特に、在仏日本人の弁護士が、実務で求められていることについてお話された内容はとても興味深かったです。日仏間で法務の進め方が違うなど、両国の間にある文化の違いを理解しつつ、自身の役割を達成することの難しさを知りました。現在、私は、様々な国や地域から来た友人に囲まれて生活を送っているため、相手の文化を尊重しながら日々接するようにしています。この経験が、目標とする今後の活動の糧になることを願っています。

その他、特別な行事がなくとも、公園でピクニックや散歩をしたり、パーティーに参加したりと友人との交流を楽しんでいます。

レンヌ政治学院での講義も残すところ1ヶ月となりました。ここでの講義の内容をできるだけ吸収できるよう残りの研修も頑張っていきたいと思います。

